

エコアクション 21 環境経営レポート



2024 年度



活動期間 : 2024 年 2 月～2025 年 1 月

Clean operation in progress

CHANGE
IN RECYCLING



発行日 2025 年 3 月 11 日



株式会社 KAWARYO PGM

<http://www.kawaryo-pgm.jp>



本レポートに掲載の挿絵は、社員及びその家族から募集した作品です。

— 目次 —

1. 事業活動の概要	-----1 ページ
2. 環境経営方針	-----5 ページ
3. 環境経営目標とその実績及び評価	-----6 ページ
4. 環境経営計画とその取組結果と評価及び次年度の取組み	-----8 ページ
5. 環境関連法規の遵守状況の確認と評価の結果並びに違反・訴訟の有無	----12 ページ
6. 主な環境活動	-----14 ページ
7. 代表者による全体評価と見直し結果	-----16 ページ

1. 事業活動の概要

1-1 会社名 株式会社 KAWARYO PGM

1-2 代表者 代表取締役 米山 雅巳

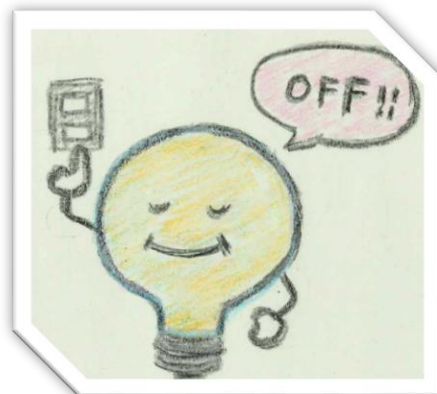
1-3 所在地 本社 (事務所・工場) 静岡県浜松市中央区湖東町 5849 番地
(駐車場) 静岡県浜松市中央区湖東町 5847 番地 1
静岡県浜松市中央区湖東町 5920 番地 3
静岡県浜松市中央区湖東町 5926 番地 1

1-4 資本金 2,000 万円

1-5 設立年月日 平成 21 年 2 月 5 日

1-6 決算期 2 月 1 日 ~ 翌年 1 月 31 日

1-7 事業内容 貴金属リサイクル業
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業



行政名	許可番号	許可年月日	有効年月日	許可品目				
				廃プラスチック類	金属くず	ガラスコンクリートくず	廃酸	廃アルカリ
静岡県	02201148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●	●	●	●	●
愛知県	02300148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●	●	●	●	●
三重県	02400148813	令和4年3月5日	令和11年3月4日	●	●	●	●	●
岐阜県	02100148813	令和5年8月24日	令和12年8月23日	●	●	●	●	●

特 別 産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業				
行政名	許可番号	許可年月日	有効年月日	許可品目
				感染性産業廃棄物
静岡県	02251148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●
愛知県	02350148813	令和3年6月8日	令和10年6月7日	●
三重県	02450148813	令和4年3月5日	令和11年3月4日	●
岐阜県	02150148813	令和5年8月24日	令和12年8月23日	●

1-8 処理施設の概要

産業廃棄物収集運搬車両				
	車両形式	最大積載量 又は車両重量	車両寸法 全長×幅×高さ (cm)	登録番号
1	小型貨物車 (バン)	1100 k g	469×169×197	浜松400ぬ2865
2	〃	1000 k g	469×169×198	浜松400に1006
3	〃	1100 k g	469×169×197	浜松400に6376
4	〃	1100 k g	469×169×197	浜松400に4816
5	〃	1100 k g	469×169×197	浜松400に4817
6	〃	1100 k g	469×169×197	浜松400に8871
7	〃	1200 k g	469×169×199	浜松400に6105
8	〃	1100 k g	469×169×197	浜松400ぬ1311
9	〃	1100 k g	469×169×197	浜松400ぬ1362
10	軽自動車貨物	350 k g	339×147×189	浜松480れ469

1-9 処理費用 収集運搬に係る費用は、排出場所・品目に応じて、ご提案・お見積もりをさせていただきますので、下記までご連絡下さい。

連絡先 (株)KAWARYO PGM 0120-51-0319

1-10 年間売上高 (単位: 百万円)

	2024年度	2023年度	2022年度
売上高	2,619	2,424	2,549

1-11 産業廃棄物の受入量・運搬量

廃棄物の種類	2024年度		2023年度		2022年度	
	受入量	運搬量	受入量	運搬量	受入量	運搬量
廃プラスチック	21.161	21.161	19.478	19.478	15.988	15.988
ガラス陶磁器くず	73.817	73.817	67.435	67.435	71.544	71.544
廃酸	1.392	1.392	1.585	1.585	1.228	1.228
廃アルカリ	1.297	1.297	1.476	1.476	1.188	1.188
金属くず	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
感染性産業廃棄物	37.865	37.865	35.240	35.240	30.425	30.425
合計	135.532	135.532	125.214	125.214	120.373	120.373

1-12 従業員数 16人(2025年1月決算)

1-13	事務所の延面積	本社	事務所	346.94 m ²
			工場	82.96 m ²
			駐車場	260 m ²



1-14 対象範囲 全組織・全活動・全従業員を対象とする。

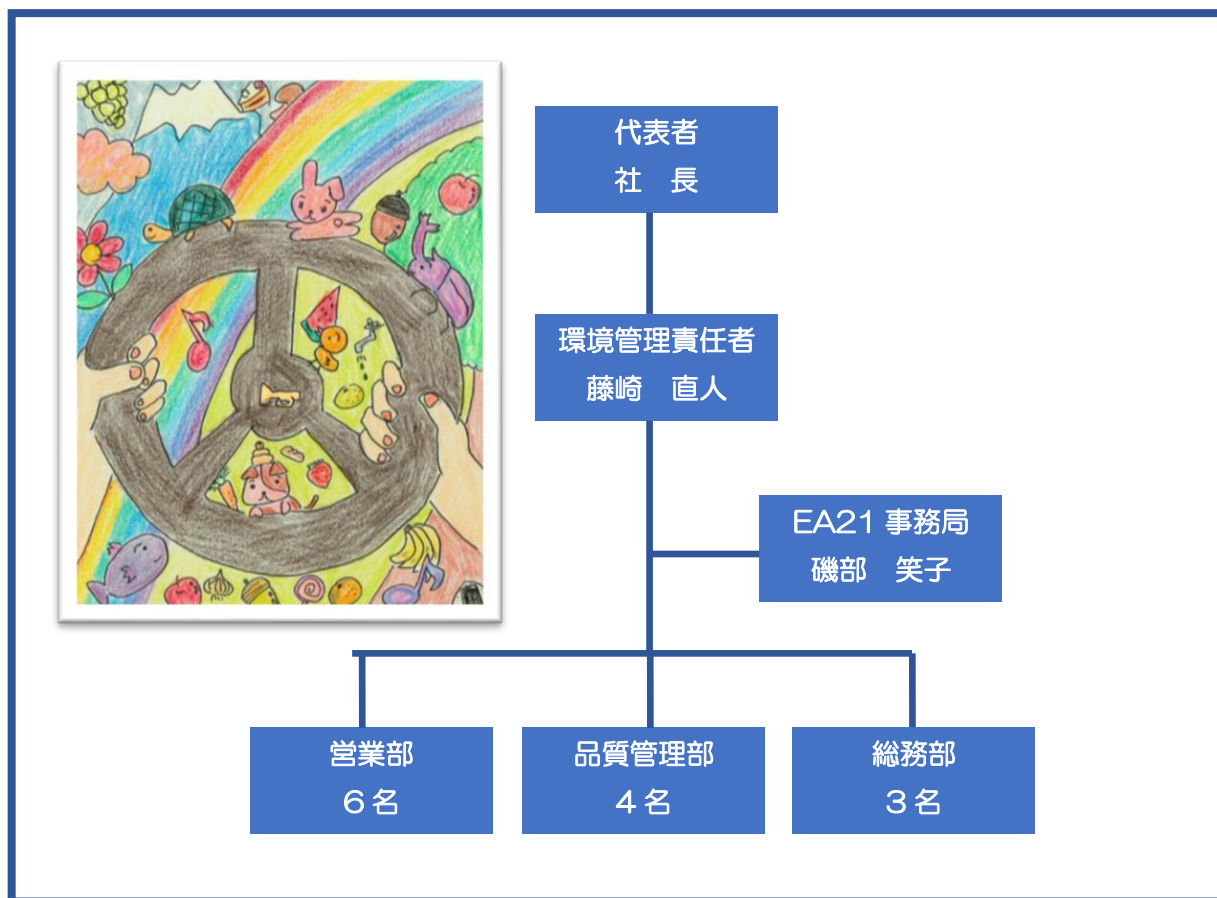
1-15 環境管理責任者及びエコアクション 21 事務局

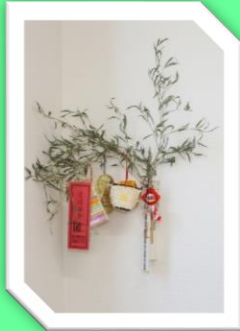
環境管理責任者 藤崎 直人 メールアドレス naoto@kawaryo-pgm.jp

エコアクション 21 事務局 磯部 笑子 メールアドレス info@kawaryo-pgm.jp

TEL 053(486)2660 FAX 053(486)2665

1-16 エコアクション 21 組織図



代表者（社長）	環境管理責任者	E A21 事務局	各担当者	全従業員
環境経営に関する統括責任	環境経営システムの構築、実施、管理	環境管理責任者の補佐	自部門における環境経営方針の周知	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用等を準備する	環境関連法規等の取りまとめ表を承認	環境負荷のチェック及び環境への取組の自己チェックの実施	自部門の従業員に対する教育訓練の実施	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
環境管理責任者を任命	環境経営目標・環境経営計画書を確認	環境経営目標、環境経営計画書原案の作成	自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告	
環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知	環境活動の取組結果を代表者へ報告	環境活動の実績集計	自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施	
環境経営目標・環境経営計画書を承認	環境経営レポートの確認	環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理	自部門の想定される事故及び緊急事態への対応の為に手順書作成、試行・訓練を実施、記録の作成	
代表者による全体の評価と見直しを実施		環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施	自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施	
環境経営レポートの承認		環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成・公開		

2. 環境経営方針

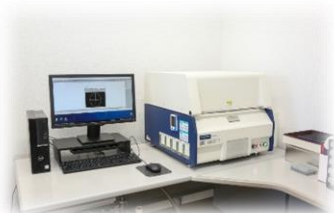
【企業理念】

株式会社 KAWARYO PGM は、非鉄金属リサイクルと産業廃棄物収集運搬業を通じ、限りある資源を大切にそして有効に利用して、環境と調和した社会づくりに貢献します。

「リサイクルで変わります」を合言葉に、次世代へ繋がる環境活動を実践していきます。

【基本指針】

- 1 経営における課題とチャンスをつまみ、省資源・省エネ化の段階的実現を推進します。
- 2 資源とエネルギーの有効活用並びに廃棄物の削減に対する環境目標を定め、目標達成のために次の活動を行い、継続的な改善を行います。
 - a. 電気・燃料の削減に努め二酸化炭素排出量を削減します。
 - b. グリーン購入を推進します。
 - c. 廃棄物の排出量の削減に努めます。
 - d. 水使用量の削減に努めます。
- 3 顧客に対して環境に配慮したサービスを提供します。
- 4 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
- 5 環境関連法規及び条例等を遵守します。
- 6 すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知し社外にも公開します。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

制定日 : 2012 年 10 月 1 日
改定日 : 2020 年 5 月 1 日

株式会社 **KAWARYO PGM**

代表取締役 米山 雅巳

3. 環境経営目標とその実績及び評価

(1) 単年目標及び中長期目標

項目		単位	基準値	単年度及び中長期目標			
			2023 年度	2024 年度 [1%削減]	2025 年度 [2%削減]	2026 年度 [3%削減]	2027 年度 [3%削減]
二 酸 化 炭 素	合計 二酸化 炭素排 出量	Kg-CO ₂	110,675	自動車燃料の二酸化炭素削減の目標が燃費になった為、二酸化炭素合計 排出量には目標を掲げず数値を把握していく。			
	電力	k W h	27,588	27,312	27,036	26,760	26,760
		Kg-CO ₂	12,663	12,536	12,410	12,283	12,283
	プロパン ガス	k g	12,852	12,724	12,595	12,466	12,466
		Kg-CO ₂	38,582	38,196	37,811	37,425	37,425
	ガソリン車 燃料	燃費 km/ ℓ	16.27	16.43 1%up	16.60 2%up	16.76 3%up	16.76 3%up
	軽油車 燃料	燃費 Km/ ℓ	12.59	12.72 1%up	12.84 2%up	12.97 3%up	12.97 3%up
廃 棄 物	自社排出 一般廃棄物	k g	285	282	280	277	277
	自社排出 産業廃棄物	k g	166.8	-	163.5	161.8	161.8
	受託 産業廃棄物	-	排出事業者と連携して、産業廃棄物の分別に努める				 
グリーン購入			100%	100%	100%	100%	100%
	水使用量	m ³	134.57	133.22	131.87	130.53	130.53
環境配慮の促進			—	排出事業者と連携し、作業時間・待機時間の短縮を図る 騒音を考慮する			
社会貢献		   	年 2 回、会社周辺の清掃を行う。 年 1 回、地域のボランティア活動を行う 年 1 回、古切手を収集し寄付する				

※二酸化炭素排出係数は環境省が公表している電気事業者別排出係数の 2023 年度実績の中部電力ミライズ㈱の値である 0.459 (kg-CO₂/kWh) を使用している。

(2) 活動期間（2024 年度 2 月～1 月）における環境経営目標とその実績及び評価

項目	単位	基準値 2023 年度	2024 年度 目標値	実績			評価	
				2022 年度	2023 年度	2024 年度		
二酸化炭素	合計二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	110,675	自動車燃料の二酸化炭素削減の目標が燃費になった為、二酸化炭素合計排出量には目標は掲げず数値を把握していく。	96,362	110,480	115,753	—
	電力	kWh	27,588	27,312	14,447	27,588	30,555	×
		Kg-CO ₂	12,663	12,536	6,530	12,469	14,025	
	プロパンガス	Kg	12,852	12,724	10,407	12,852	13,034	×
		Kg-CO ₂	38,582	38,196	31,243	38,582	39,129	
	ガソリン車	燃費 km/ℓ	16.27	16.43	15.67	16.27	16.59	○
		ℓ	2,178.66	1,518.72	1,646.63	2,178.66	3,739.44	
	軽油車	燃費 km/ℓ	12.59	12.72	11.81	12.59	12.56	×
		ℓ	20,564.12	18,912.92	20,678.39	20,564.12	20,479.01	
	一般廃棄物	Kg	285	282	280	277	210.32	○
産業廃棄物	Kg	166.8	-	15.7	166.8	174.5	-	
受託産業廃棄物	—	排出事業者と連携して、産業廃棄物の分別に努める						
グリーン購入		100%	グリーン購入比率 100%	100%	100%	100%	○	
水使用量		134.57	133.22	-	134.57	145.47	×	
環境配慮の促進		●排出事業者と連携し、作業時間・待機時間の短縮を図る ●マッピングアシストの利用促進						
社会貢献		年 2 回、会社周辺の清掃を行う					5 月・11 月	×
		年 1 回、地域のボランティア活動を行う					10 月	○
		年 1 回、古切手を収集し寄付する					時季変更	△

※二酸化炭素排出係数は環境省が公表している電気事業者別排出係数の 2023 年度実績の中部電力(株)の値である 0.459(kg-CO₂/kWh)を使用している。ただし、2022 年実績については 0.452(kg-CO₂/kWh)を使用した。

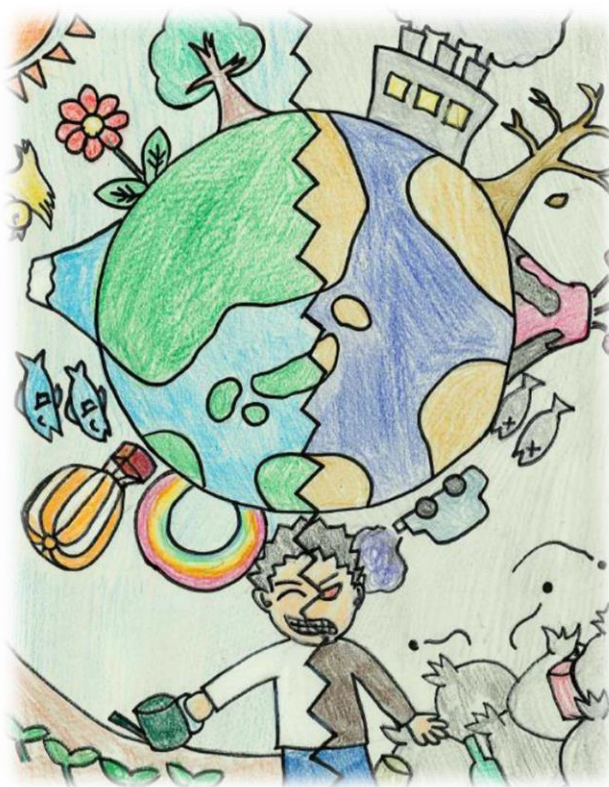
4. 環境経営計画とその取組結果と評価及び次年度の取組み

(1) 環境経営計画とその取組結果とその評価 (○印：達成、△印：ほぼ達成、×印：未達成)

方針	項目	目的達成手段	取組評価	達成状況/是正策	評価/指示
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素削減	不必要な照明の消灯	○	パソコンの電源オフの声掛けや、ノー残業デーを実施したが、目標値を上回ってしまった。特に夏は大幅に使用量が増えた。改善提案 BOX に、退社時に照明を使用していない島の消灯が提案され、導入したところ、従業員に浸透し実行されている。月目標を達成できている月もあるので、節電の取り組みが数字に表れてきていると思う。	電力使用量削減の対策として、ノー残業デーを実施しているが、何となくやるのではなく徹底して行っている。節電の声掛けをする機会が増えているので、今後も続けてほしい。夏場の熱中症対策で電力量が増えるのは仕方のない事なので、節電のアイデアを募集し、色々な対策を立ててほしい。
		室温管理をする(暖房 23 度・冷房 26 度)	○		
		帰社時のパソコン電源オフの徹底	△		
		月に 1 回ノー残業デーの実施	○		
		中期計画 ・空調機のフィルターの定期的な清掃			
二酸化炭素排出量削減	液化石油ガスの二酸化炭素削減	プロパンガスの無駄のない使用及び数値の管理	○	単月で見ると、目標を達成できている月もあるが、トータルでは増えてしまった。歯科金属の取扱量は昨年よりも減っているが、廃仏壇の小ロットの入荷が多かったため、溶解作業日以外にも炉に火をつけることが度々あった。(株)川良の作業日で炉に火を入れるときに、炉の上で廃仏壇を処理できるようにお願いしてみる。数値は達成できていないが、取り組みはできている。	荷物入荷量によって、ガス使用量に変動があり、荷物が増えればガス使用量も増えることは仕方のない事。数値の把握と原因の追究はできており、対策も取っているが目標は未達成。一人で考えるのではなく、品質管理部全体で話し合いより良い改善提案を出してほしい。
	自動車燃料の二酸化炭素削減	アイドリングストップの励行	○	燃費の年間目標は、ガソリン車が達成率 100.9%、軽油車は 98.7%という結果だった。軽油車(ハイエース)は営業マンが乗っているため、夏の期間は熱中症にならないようにエアコン全開の為、燃費が悪くなっている。エアコンを使用せずに快適な気候の 4 月や 11 月は燃費目標を達成できている。ガソリン車は、稼働率が高くなったのでガソリン使用量は増えたが、燃費目標は達成できている。来年は夏にエアコン用潤滑添加剤を試してみる。	朝礼で、「車両が暖まるまではエアコン ON、暖まったらエアコン OFF で送風だけでも暖かい風が出る」という暖房使用時のエコドライブに繋がる方法を展開してくれた。燃費向上に努めている車両の中で、燃費を気にせず走行する車両がいれば全体の燃費は上がらないので、全社で試して、燃費が良くなるか検証するなどしてほしい。ゆとりのある運転を心がけると、燃費向上に繋がると社長からのコメントもあった。
		燃費の下がった月は車両ごとに原因追及する	○		
		エコドライブの教育及び実行	○		
		中期計画 ・社用車の低公害車への切り換え			
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	分別の徹底	○	【紙】コピー用紙の裏紙利用率が高まり、印刷ミスをした裏紙用紙が足りなくなる事がしばしばある。手差しトレイの裏紙を常に補充できるように、計量のタイミングを 2 回/月にするなどしたい。 【ゴミ】ゴミ排出量の表をグラフ化した。また、請求書を電子化し月初に届く封筒の通数を減らしゴミを削減した。	【紙】裏紙利用は社員に浸透している。今後は両面印刷や集約印刷の徹底を呼び掛けてほしい。新入社員が入った時にはコピー用紙の使用方をしっかりと伝えてほしい。 【ゴミ】一般廃棄物を削減するための工夫がしっかりとできている。また原因究明もできているので、社内に展開してほしい。
		宅配の発送元への簡易包装の徹底	○		
		会議資料や確認資料の両面印刷・集約印刷の徹底	○		
		ミスプリント削減の為、印刷前にレビュー確認の徹底	○		
		中期計画 ・打ち合わせや会議の資料等のペーパーレス化(ホワイトボード・プロジェクターの使用推進)			

	受託産業廃棄物のリサイクル量の向上	排出事業者に廃棄物の分別を呼びかける	○	排出事業者から回収し、処分場へ搬入の際に、廃プラに缶や乾電池が入っていた。回収時にはしっかりと確認してから車に積むようにする。また排出事業者や社内でも分別の徹底を呼び掛ける。	産廃への異物の混入を防ぐには、排出事業者への教育が必須。そのためには回収者にも正しい知識を伝える事。声掛けでも是正されないようなら、別の方法を考えて実行する事。
		受託した産業廃棄物の搬入管理を行う	○		
		中期計画 ・排出事業者の排出状況や運搬先の処理施設の状況を把握し適切な収集運搬計画を立てる			
水使用量削減	水道水の削減	洗車や石膏トラップ [※] 清掃時の節水の呼びかけ	○	単月の目標を達成できていない月があった。トラップの洗浄の回数や時間のデータを取り、やはり原因は石膏トラップの洗浄の際の水使用。また、子メーターのデータを見ると夕方から朝にかけてずっとちよろちよろと水が出ているということが1日あった。防犯カメラで見たが原因の特定はできなかった。洗濯時の水位を低くしたり、水栓に節水のシャワーを付けたりと工夫してみる。	原因を追究する為、石膏トラップ洗浄時のデータを取るなど対策を行っている。その結果をしっかりと解析し改善策を講じてほしい。一部の人に伝えるのではなく、水使用の削減を全社に呼びかける事、節水のアイデアを募集するなど積極的に進めてほしい。
		節水のアイデアを募集する	△		
		中期計画 雨水の利用促進			
環境配慮資材の購入	グリーン購入の推進	資材のグリーン購入化（品目の選定）	○	トイレトーパーを再生紙を利用したものに變更したところ、トイレが詰まったのでペーパーを選定し直した。また、感染BOXのエコ商品の見積もりを取って見たが従来品よりも高く今の運搬料では厳しいので見送った。グリーン購入の達成率に変化が無くマンネリ化しているのでエコアクションの先生に相談してみる。	備品についてはしっかりと必要に応じて商品の選定ができていないので、今後も無理のない範囲でグリーン購入を推進したい。社員にグリーン購入のアイデアを募集するなどしてほしい。
		事務用品のグリーン購入比率向上	△		
		中期計画 ・産廃資材や工場資材のグリーン購入品の選定			
環境配慮の促進	買取の貴金属スクラップ回収時及び、産業廃棄物の収集運搬時における環境配慮	作業時間や待機時間の短縮化	○	産廃回収時の作業明細が新しくなり、記入箇所が減ったので作業時間が短縮できている。営業会議などでマッピングアシストの利用を促進している。IphoneがVPNに繋がりにくい端末があったりするのでIpadに切り替えて作業するなど臨機応変に対応してほしい。	マッピングアシストの利用率は上がってきている。会議のたびに利用促進をしている結果だと思う。IphoneのVPN接続不良の場合は、Ipadで試すなど、各自対応するとともに、システム会社に対策を聞いてほしい。
		マッピングアシストの有効な活用方法を社内で展開する	○		
		中期計画 ・収集運搬時、住宅街等では騒音を考慮し回収時間やルートを見直す			
社会貢献	社会貢献	古切手を収集し寄付する（年1回）	△	古切手は瓶にだいたまとてきたので、寄付先を選定したい。4月と12月に汚泥マスの清掃を行ったが、会社周辺の清掃はできなかった。10月のグリーン作戦は実施し、参加率も良かった。	古切手の回収を積極的に社内で呼び掛けてほしい。会社周辺の清掃を行っていないので、定期的に行うこと。グリーン作戦も実施して終わりではなく、反省点を次回に生かすようPDCAを回してほしい。
		地域のボランティア活動へ参加（年1回）	○		
		会社周辺の定期的な清掃（年2回）	×		
		中期計画 ・古切手を収集し年1回送付する			

年間計画	環境方針・目標・活動計画の周知	○	今年度は基準値を社屋移転後の 2023 年に変更したので目標値も無理のない数字となっています。2024 年度の二酸化炭素排出量は昨年と比べて 5,078 kg-CO₂(4.5%)増加しました。内訳は電力使用量が 1,488.75 kg-CO₂ (11.8%)、プロパンガス使用量が 181,98 kg-CO₂ (0.47%)、自動車燃料が 3,400.24 kg-CO₂ (5.7%) の増加です。 逆に一般廃棄物は 72.12 kg (25%) 削減できました。これは担当者の数値の分析力とゴミ削減の意識を常に業務に落とし込んでいる事の表れだと思います。電力の二酸化炭素削減では数値的には増加していますが、月に 1 度ノー残業デーを設け電力使用量がどのように変化するか確認しました。結果としてはノー残業デーを実施した日に電力使用量が劇的に減ることはありませんでしたが、PDCAサイクルを回す事に意義があったと思います。今年はPCの電源OFFの徹底をして、数値の変化を確かめてほしいと思います。液化石油ガスの二酸化炭素削減では、二酸化炭素排出量は微増しました。プロパンガス使用時間をきちんと管理し、プロパンの効率的な使用方法を考えながら作業をしている。目標が達成できていないのは、荷物の量が増えていることが原因。自動車燃料は今期は、軽油の車両(ハイエース)が 1 台増車、ガソリン車のハイゼットの稼働率が増えたことにより、燃料使用量は長距離ルート 1 台増えました。しかし、燃費はガソリン車は 100%を超えています。車両を 5 年で入れ替えるようにしてから車両の経年劣化による燃費の下がりは無くなりました。エコドライブコンテストなどで燃費削減の意識は高まっています。 SDG's の取り組みの 1 つである「浜名湖クリーン作戦」は 3 回目の開催となり、社員の家族を含め 18 名でゴミ拾いをしました。今回はSDG's 担当者の発案で、ゲーム性を取り入れてゴミ拾いをしました。「誰が一番珍しいごみを拾うかコンテスト」です。子供も楽しんで参加してくれました。 今後も、エコアクション 21 やSDG's の取り組みを通し様々なアイデアを出し、トライ＆エラーを繰り返し、持続可能な社会に貢献したいと考えます。
	環境目標。環境活動進捗状況確認・評価	○	
	適正処理を行うための研修会参加	○	
	緊急事態対応訓練	○	
	環境活動レポートの作成と地域事務局への送付	○	



(2) 次年度の取組内容

方針	項目	目的達成手段	責任者
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素削減	不必要な照明の消灯	松下
		室温管理をする（暖房 23 度・冷房 26 度）	
		帰社時のパソコン電源オフの徹底	
		月に 1 回ノー残業デーの実施	
		中期計画 ・空調機のフィルターの定期的な清掃	
	液化石油ガスの二酸化炭素削減	プロパンガスの無駄のない使用及び数値の管理	酒井
廃棄物排出量削減	自動車燃料の二酸化炭素削減	NEW エアコン用潤滑添加剤の使用	藤崎
		燃費の下がった月は車両ごとに原因追及をする	
		エコドライブの教育及び実行	
		中期計画 ・社用車の低公害車への切り換え	
	一般廃棄物の削減（一般廃棄物・産業廃棄物）	宅配の荷物の発送元への簡易包装の徹底	本間
		事務所から出るごみの分別の徹底	
		会議資料や確認資料の両面印刷・集約印刷の徹底	増田
		ミスプリント削減の為、印刷前にプレビュー確認の徹底	
	受託産業廃棄物のリサイクル量の向上	排出事業者へ廃棄物の分別を呼びかける	堀野
		受託した産業廃棄物の搬入管理を行う	鈴木歩
		中期計画 ・排出事業者の排出状況や運搬先の処理施設の状況を把握し適切な収集運搬計画を立てる	
水使用量削減	水道水の削減	NEW 節水のアイデアを募集する 洗濯機の設定をすすぎ 1 回、洗剤もすすぎ 1 回用に変更 中期計画 ・雨水の利用促進	佐野
環境配慮資材	グリーン購入の推進	資材のグリーン購入化（品物の選定） 事務用品のグリーン購入比率向上 中期計画 ・産廃資材や工場資材のグリーン購入品の選定	田上
環境配慮の促進	買取の貴金属スクラップ回収時及び、産業廃棄物の収集運搬時における環境配慮	作業時間や待機時間の短縮化 マッピングアシストの有効な活用方法を社内で展開する 中期計画 ・収集運搬時、住宅街等では騒音を考慮し回収時間やルートを見直す	鈴木沙
社会貢献	社会貢献	年 1 回、古切手を収集し寄付する 年 1 回、地域のボランティア活動へ参加する 年 2 回、会社周辺の定期的な清掃をする 中期計画 ・古切手を年 1 回送付する	栗野
年間計画	環境方針・目標・活動計画の周知		環境事務局
	環境目標・環境活動進捗状況確認・評価		環境管理責任者
	適正処理を行うための研修会参加		環境事務局

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認と評価の結果並びに違反訴訟の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

区分	法規制等の名称	該当する要求事項	条項	概要	遵守評価
(株)KAWARYO PGM として遵守する法律	環境 法 令	事業者の責務	第 3 条	事業者の一般廃棄物の自ら処理	遵守
		所有・占有・管理土地の清潔の保持	第 5 条	不適正処理廃棄物発見の速やかな通報等	遵守
		一般廃棄物の委託処理	第 6 条の 2 第 6 項	契約の締結	遵守
		産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付け	第 12 条	産業廃棄物収集運搬車であることを車体に表示する。許可証の写し、マニフェストの備え付け。	遵守
		産業廃棄物収集運搬業の帳簿整備	第 12 条の 2	帳簿の整備・保存	遵守
		産業廃棄物収集運搬業の管理票処理	第 12 条の 3 第 3 項	・B1 票の 10 日以内の送付 ・収集運搬業者の管理票交付者へのマニフェストの写しを送付、この場合において当該産業廃棄物処分委託へのマニフェスト管理票の回付	遵守
			第 12 条の 3 第 6 項	管理票交付者のマニフェストの保管	遵守
			第 12 条の 3 第 7 項	・産業廃棄物管理票交付状況等の報告 ・保管（5 年間）	遵守
		虚偽の管理票発行の禁止	第 12 条の 4	虚偽の受託、虚偽の運搬の禁止	遵守
		産業廃棄物の収集運搬業の許可	第 14 条	許可基準、許可期限、名義貸し禁止、許可取り消し基準	遵守
		産業廃棄物の収集運搬業許可の変更等	第 14 条の 2		遵守
		特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可	第 14 条の 4		遵守
		特別管理産業廃棄物処理業者の責務	第 14 条の 4 第 12 項	特別管理産業廃棄物処理基準の遵守	遵守
		特別管理産業廃棄物の収集運搬業許可の変更	第 14 条の 5		遵守
		不法投棄の禁止	第 16 条		遵守
		感染性産業廃棄物処理ガイドライン	—	ガイドラインの規定を満たす収集運搬	遵守
	道路 交 通 法	免許証携帯と有効期限	第 64 条	無免許運転の禁止	遵守
		安全運転管理者の設置と交通安全教育の実施	第 74 条	対象：車両 5 台以上	遵守
		交通事故時の措置	第 72 条	死傷者又は損壊時の救護及び通報	遵守
		酒気帯び運転の禁止	第 65 条	酒気帯び運転の禁止・酒気帯び運転者に運転させることの禁止	遵守
		過労運転の禁止	第 66 条	過労運転させることの禁止	遵守
		速度遵守	第 22 条	制限速度の遵守	遵守
		積載制限遵守	第 57 条	・産業廃棄物収集運搬車 ・過積載車両の運転指示の禁止・過積載の禁止	遵守
	道路 運 送 車 両 法	点検及び整備の義務	第 47 条		遵守
		定期点検整備	第 48 条		遵守
		点検整備記録簿	第 49 条		遵守
		自動車検査証の携行	第 56.58 条	・自動車者検査証の交付を受けて運行 ・有効な車検証を携行	遵守

		消防法	発火の恐れのある設備の届出	第 15 条	・溶解炉 ・溶解炉（3 基）の設置の届出	遵守
			LPG ガスの貯蔵及び取り扱い	第 1 条の 5	・LPG ガス最大貯蔵又は取り扱いの開始（980 kg）	遵守
		労働安全衛生法	機械等から生ずる労働災害の防止	第 85.86 条	・分析機 ・X 線分析機設置の届出	遵守
		悪臭防止法	規制基準の遵守義務	第 7 条	浜松市 465 号（浜松市内の場合。他自治体の場合は、その告示による。）	遵守
	静岡県	静岡県生活環境の保全等に関する条例	騒音に係る特定施設の届出	第 53 条	・集塵機 ・集塵機設置の届出	遵守
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	静岡県知事への産業廃棄物処理状況の報告等	第 22 条		遵守
	浜松市	浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託に係る運搬又は処分が行われる施設の状況等を实地に確認	第 10 条		遵守
		浜松市音・かおり・光環境創造条例	悪臭の少ない生活環境の保持	第 9 条		遵守
	他県	産業廃棄物収集運搬の許可を得ている愛知県・三重県・岐阜県が制定している産業廃棄物関係の条例				遵守
	事業者全般として遵守する法律	環境法令	環境基本法	事業者の責務	第 8 条	公害防止、自然環境適正保全の為の措置の実施等
地球温暖化対策の推進に関する法律			事業者の責務	第 5 条	事業者は、その事業活動に関し、温室効果ガス排出抑制等のための措置の実施、国・地方公共団体が実施する温室効果ガス排出抑制等のための施策への協力	遵守
自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）			使用済自動車の引き取り業者への引渡し	第 5 条		遵守
			自動車再資源化料金の再資源化等預貯金としての資金管理法法人への預託	第 73 条		遵守
グリーン購入法(等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)			事業者及び国民の責務（境物品の購入）	第 5 条		遵守
小型家電リサイクル法(使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律)			事業者の責務	第 7 所	事業者は、その事業活動に伴って生じた使用済小型電子機器等を排出する場合は、収集運搬又は再資源化を適正に実施できる者へ引き渡すように努める	遵守
浄化槽法			事業者の責務	第 7 条 第 10.11 条	・浄化槽設置後の検査 ・保守点検・清掃 ・法定検査	遵守
フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）			事業者の責務	第 5 条	特定製品の管理者(事業者)はフロン類の管理の適正化に努めるとともに国等の施策に協力する	遵守
			第 1 種特定製品の管理者が講ずべき措置	第 16 条～ 第 26 条	第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全、簡易点検・定期点検、漏洩や故障の場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止、点検・整備の記録作成・保存等を行う。	遵守

遵守評価日：2025 年 3 月 7 日

(2) 違反、訴訟等の有無

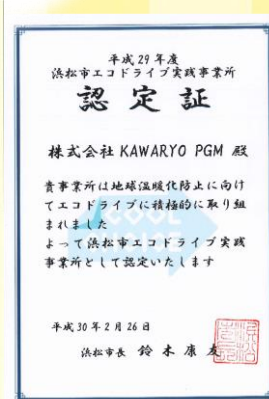
環境関連法規等の評価の結果、
環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去 3 年間にわたって違反や
関連機関からの指摘や利害関係者からの
訴訟もありませんでした。



6. 主な環境活動

平成 25・26・27 年度	浜松市新エネ・省エネ対策トップランナー「AA」
平成 29 年度	浜松市エコドライブ実践事業所
平成 30 年度	浜松市エコドライブ優良事業所
平成 31 年・令和元年度	浜松市エコドライブ優良事業所
令和 2 年度	浜松市エコドライブ優良事業所
令和 3 年度	浜松市エコドライブ模範事業所

エコドライブ模範事業所とは・・・優良事業所として 3 回認定された後も継続して 1 年間
エコドライブに取り組んだ事業所



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2021 年 2 月から古切手の収集を始めました



2024.10.26 第3回 KAWARYO PGM クリーン作戦



社員と家族、参加者 18 名で、
楽しみながらゴミを回収しました。



7. 代表者による全体評価と見直し結果

2024 年度は二酸化炭素排出量は昨年と比べて 5,078 kg-CO₂ 増加しました（昨年比 104.5%）。

内訳では、電力が 1,488.75 kg-CO₂(昨年比 111.8%)、プロパンガスが 181.98 kg-CO₂(昨年比 00.47%)、自動車燃料が 3,400.24 kg-CO₂(昨年比 105.7%)の増加となっています。金属扱い量は前年比 97.3%でしたので、当社の売上に比例して数値が大きくなっているものではありません。液化石油ガスの二酸化炭素削減に関しては、歯科金属の扱い量は減りましたが、廃仏壇の細かい荷物が多く、炉の稼働率は昨年に比べて大きくなっています。但し、量の多い廃仏壇のロットは、前処理を関係会社の炉を借りて行い前処理時間及び納期の短縮ができました。プロパンガス使用時間はしっかりと管理できているので作業効率が高まるような仕組みを構築してほしいと思います。電力の二酸化炭素削減については、月に 1 回のノー残業デーを実施しました。結果には結びつきませんでしたが、Plan⇒Do⇒Check⇒Action を 1 周させたことに意義があります。今後も、節電のアイデアを募集し、「1 回やってみる」を繰り返してほしいと思います。車両の燃費に関しては、軽油車両が目標を達成できませんでした。燃費目標は、前期末に「基準年は設けず前年数値の 1%アップとする」としていましたが、1 年を通じて活動した結果、前年の 1%アップを目標とすることの問題点が出てきました。前年の数値により、目標達成が容易になったり困難になったりするので、目標は変更せず「基準年は 2023 年とし、2025 年の目標は基準年の 2%アップ」とします。一般廃棄物の二酸化炭素では大幅に数値が削減され、ごみの量が 72.12 kg(昨年比 75.0%) となりました。これは、担当者が毎日の業務にゴミ削減を落とし込んでおり、適切な対策を講じたことの現れだと思います。

浜名湖クリーン作戦も 3 回目となりました。今年度は 18 名の参加となり、ゲーム性を持たせたゴミ拾いだったので、楽しんでゴミを拾うことができました。昨年と比べて海岸のプラスチックごみは減っていませんでしたが、私たちの小さな取り組みが SDG's の「14 海の豊かさを守ろう」の目標達成に力になればと思います。また、今年度は実行できなかった「年 2 回の会社周辺の清掃」を来年は早めに計画し行ってほしいと思います。

社屋移転に伴い、電力と水使用量に関しては子メーターを取り付け、時間ごとに使用量を把握できる仕組みになりました。原因追及が容易になったので引き続きしっかりと数値を確認してほしいです。循環資源であるコピー用紙も裏紙利用の促進を工夫して行っていました。今後は両面印刷や集約印刷の活用を力を入れてほしいです。

2 年目となった社屋は、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物であるネット・ゼロ・エネルギー・ビル【ZEB】認証を取得しており、屋根・外壁・窓・照明器具・空調器具が省エネ仕様になっています。一次エネルギー消費量からの削減率が 84%の建物と認定されています。建物だけでなく社員一丸となり「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に向けて活動をしていきたいと思います。

環境経営方針	■変更なし □変更あり
環境経営目標	■変更なし □変更あり
環境経営計画	□変更なし ■変更あり
環境に関する組織・実施体制	■変更なし □変更あり
環境経営システム	■変更なし □変更あり

見直し日 2025 年 3 月 10 日
株式会社 KAWARYO PGM
代表取締役 米山 雅巳

